

令和 5 年

安全功勞者内閣総理大臣表彰

令和 5 年 7 月 1 日

内閣府大臣官房総務課

令和5年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(分野別五十音順)

(交通安全関係)

[個人]

飯高憲治	(内閣府)
門脇考靖	(警察庁)
小山和義	(警察庁)
武廣敏夫	(警察庁)
竹山博	(国土交通省)
中村一壽	(警察庁)
中本勝幸	(警察庁)
橋本典之	(内閣府)
宮本保一	(警察庁)

[団体]

湖西市交通指導隊	(内閣府)
読谷村交通安全友の会	(内閣府)

(学校安全関係)

[団体]

大分県立臼杵支援学校	(文部科学省)
鹿児島県いちき串木野市立旭小学校	(文部科学省)
岐阜県恵那市立恵那東中学校	(文部科学省)
高知県立山田特別支援学校	(文部科学省)
千葉県立銚子高等学校	(文部科学省)
山形県南陽市立荻小学校	(文部科学省)

(産業安全関係)

[個人]

新井 充 (経済産業省)

毛利 元彦 (厚生労働省)

(火災予防関係)

[個人]

瓜生 卓郎 (消防庁)

須佐 光佐子 (消防庁)

友藤 富士子 (消防庁)

[団体]

一般財団法人愛知県消防設備安全協会 (消防庁)

医療法人清和会 (消防庁)

毛井首町婦人防火クラブ (消防庁)

功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	いいだか けんじ 飯 高 憲 治
住 所	千葉県千葉市
主 要 経 歴 等	千葉県交通安全協会理事
功 績 の 概 要	<p>昭和60年から千葉南交通安全協会土気支部交通指導員として活動し、永きにわたり積極的に地域の交通安全の推進に尽力している。特に、交通指導員として街頭監視活動に従事し、主要交差点やスクールゾーンにおける通学児童及び高齢者等の交通弱者の交通事故防止活動に努めるとともに、千葉南交通安全協会会長として、交通安全教室の開催や飲酒運転根絶広報等、地域住民の交通道德啓発に努め、交通安全意識の高揚に多大なる貢献をしている。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	かどわき たかやす 門 脇 考 靖
住 所	北海道苫小牧市
主 要 経 歴 等	北海道安全運転管理者協会副会長
功 績 の 概 要	<p>昭和62年4月から自社の安全運転管理者に選任され、以降、事業所の適正な運行管理を始め、自らも安全運転に関する技能・知識の研鑽に努めており、その取組姿勢は、自社従業員はもとより、他の事業所の模範となるなど、地域の交通事故防止活動に大きく貢献した。また、昭和63年5月からは苫小牧地区安全運転管理者協会理事に、平成18年6月には同協会会長にそれぞれ就任し、協会の運営や事業計画等にも積極的に参画し、支部会員や管内の各事業所に対する期別の交通安全運動やセーフティラリーへの参加、デイライト運動の働き掛けを始め、警察署、関係機関・団体と連携を緊密にした交通安全活動も積極的に推進し、地域の交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に大きく貢献した。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	こやま かずよし 小 山 和 義
住 所	東京都品川区
主 要 経 歴 等	大崎交通安全協会副会長
功 績 の 概 要	昭和42年に運転免許を取得して以来、50年の長きにわたり、普通貨物自動車の運転に従事し、この間、交通法令を遵守し、安全運転を励行するなど、他の運転者の模範となって交通事故防止に努めた。また、大崎交通安全協会副会長として、各種交通安全イベントの参加に留まらず、自ら地域交通安全活動推進委員として長期にわたり活動し、管内の交通事故防止に多大な貢献をしている。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	たけひろ としお 武 廣 敏 夫
住 所	佐賀県三養基郡みやき町
主 要 経 歴 等	鳥栖三養基地区交通安全協会副会長
功 績 の 概 要	平成7年から28年余の長期にわたり、造園業を営む傍ら、交通安全指導員等の交通安全関連役職を複数兼任するとともに、鳥栖三養基地区交通安全協会の理事として、地域住民に交通事故防止を呼び掛けるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
氏 名	たけやま ひろし 竹 山 博
住 所	神奈川県横須賀市
主 要 経 歴 等	(公社) 関東小型船安全協会理事
功 績 の 概 要	<p>昭和49年9月22日、海上安全指導員に指名されて以来、現在に至るまでの48年間の長きにわたり、ボランティアとしてプレジャーボート等の小型船舶を中心に安全指導を行うとともに、海難防止講習会など事故防止に係る教育にも積極的に参画し、安全で秩序ある海洋レクリエーションの発展に寄与してきた。</p> <p>また、平成4年に主任海上安全指導員に指名されて以来、現在に至るまで豊富な経験と知識及び指導力をもって海難防止活動を積極的に推進し、小型船舶の海難防止思想の普及に努めるとともに、後進の育成にも多大なる貢献を果たしてきたものである。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	なかむら かずひさ 中 村 一 壽
住 所	静岡県湖西市
主 要 経 歴 等	静岡県安全運転管理協会副会長
功 績 の 概 要	<p>昭和41年から現在に至るまでの長きにわたり、安全運転管理者として勤務先の交通事故防止に尽力するとともに、地区協会の役員を歴任し、リーダーシップを発揮して、会員事業所を多数動員させ地域の交通安全活動的に取組み、交通事故防止に多大な貢献をした。</p> <p>平成元年に、隣接の愛知県豊橋安全運転管理協会と連絡会を組織し情報交換をするなど、県境を越えた交通安全活動に尽力し、その功績は誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	なかもと かつゆき 中 本 勝 幸
住 所	山口県周南市
主 要 経 歴 等	周南安全運転管理者協議会副会長
功 績 の 概 要	創意工夫した広報啓発活動を行い、各期における交通安全運動、キャンペーンに積極的に参加した。また、安全運転管理者講習では各事業所の受講者に対し、安全運転管理に関する指導を行うとともに、自らが主要交差点において積極的な交通立哨を継続して行っている。

功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	はしもと のりゆき 橋 本 典 之
住 所	鳥取県米子市
主 要 経 歴 等	鳥取県交通安全協会副会長
功 績 の 概 要	<p>昭和58年7月に米子市から交通安全指導員の委嘱を受けてから現在に至るまでの39年の長期にわたり、児童・生徒を中心とした街頭交通指導に尽力し、小学校での低学年の交通安全教室や3年生の自転車教室を毎年行うなど、子どもの交通安全について積極的に取り組んできました。また、各交通安全運動の推進はもとより、地域で大人を対象とする交通安全教室を毎年行うなど、交通事故防止および交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	みやもと やすかず 宮 本 保 一
住 所	福井県小浜市
主 要 経 歴 等	小浜市交通指導員会会長
功 績 の 概 要	<p>昭和41年に運転免許を取得して以来、家業の硝子販売店の配達業務や交通ボランティア活動で毎日自家用車を運転しているが、昭和52年4月以降45年の長きにわたり、無事故無違反であり、交通法令の遵守及び他の模範となる安全運転に努めているほか、小浜地区子供を交通事故から守る会会員や小浜市交通指導員として、交通安全行事への参画や、通学路や主要交差点における街頭指導を通じた住民への交通事故防止の呼び掛けなどの活動に従事し、交通事故防止及び交通安全思想の普及・啓発に大きく貢献した。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	こさいしこうつうしどうたい 湖西市交通指導隊
所 在 地	静岡県湖西市
代 表 者	まつおか ただし 隊長 松 岡 正
功 績 の 概 要	昭和58年4月1日に発足以来、40年にわたり湖西市の交通安全に寄与してきた。市はもちろんのこと、警察、交通安全協会、学校等と密接に連携し、地域の実情に即した交通安全活動に取り組み、組織ぐるみの交通安全対策を推進してきた。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	よみたんそんこうつうあんぜんとものかい 読谷村交通安全友の会
所 在 地	沖縄県中頭郡読谷村
代 表 者	しまぶくろ みちこ 会長 島袋 美智子
功 績 の 概 要	<p>読谷村交通安全友の会（旧 読谷村交通安全母の会）は、平成元年に結成以来、地域住民の交通安全意識の高揚及び交通秩序の確立と交通安全の実現に向け、関係機関や地域住民と緊密に連携し、各季の交通安全運動や各種交通安全イベント等に積極的に参加するほか、独自で作成した「交通事故防止及び飲酒運転根絶」に関する横断幕を使用し、管内主要交差点でアイキャッチ作戦（出勤時間帯）を実施するなど交通事故防止活動を幅広く展開している。また、地域の新入学児童や幼稚園、保育園を対象に紙芝居を利用した交通安全指導を実施するなど、地域に密着した交通安全活動により交通モラルの向上と交通事故防止の啓発活動も積極的に推進している。その他、地区安全協会と連携した戸別訪問による交通安全啓発の呼びかけや、手作りで交通安全お守りを作成し入学式や成人式などで交通安全を呼びかけながら配布するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p> <p>※ 令和5年4月22日付で名称変更</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	<small>おおいたけんりつうすきしえんがっこう</small> 大分県立臼杵支援学校
所 在 地	大分県臼杵市
代 表 者	<small>さとう しげる</small> 校長 佐 藤 茂
功 績 の 概 要	<p>令和元年度から、児童生徒が適切に判断し、主体的に行動できる「防災教育」に取り組んでいる。この取組は、指導内容や指導方法を引き継ぎながら改善を加え、4年目を迎えている。本校オリジナルキャラクター『ザ・ボウサイーズ』による知識・情報の周知と具体行動の提案、行動評価を繰り返す中、主体的に行動できる児童生徒が増えている。教員は、年間指導計画、個別の指導計画等を「防災教育」の視点から見直し、指導内容の関連を整理し、児童生徒が主体的に行動できるよう指導した。生活単元学習や特別活動の学習場面や日常の生活場面で、自分で考え行動する姿が多く見られるようになった。全校集会を活用した防災学習を進めるとともに、関連機関などと連携し、地域での防災教育にも取り組み安全教育の推進を行った。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	かごしまけんいちきくしきのしりつあさひしょうがっこう 鹿児島県いちき串木野市立旭小学校
所 在 地	鹿児島県いちき串木野市
代 表 者	みやざき みどり 校長 宮 崎 み ど り
功 績 の 概 要	<p>学校教育目標「心豊かで自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きぬく子どもを育てる」の下、安心・安全な学校環境づくりを目指し、地域との連携(スクールガードによる集団登下校や職員・保護者による立哨指導)を行うことにより、安全教育の推進に多大な貢献をした。平成5年10月1日から交通事故ゼロが28年間を経過しており、令和4年6月29日で10,500日に達した。また、毎月1回の安全タイムでKYT(危険予知トレーニング)を実施し、安全に対する意識の高揚に努めている。また、原子力防災に関連した実効性のある訓練として、近隣の小中学校と連携して保護者引き渡し訓練を実施し、実際の災害を想定した課題等の確認を行っている。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	ぎふけんえなしりつえなひがしちゅうがっこう 岐阜県恵那市立恵那東中学校
所 在 地	岐阜県恵那市
代 表 者	にしお ひでのり 校長 西 尾 英 憲
功 績 の 概 要	<p>学校教育目標「知識を深め心豊かに躍動する生徒」のもと、学校安全・地域安全の推進を目指し、恵那東防災リーダー育成実行委員会大井町自主防災隊、恵那市役所危機管理課等との連携により学校と地域が一体となって組織的に防災教育を行っている。近い将来起こりうる南海トラフ大地震に備え、中学生が地域社会人として貢献する人材になるという願いから、平成30年に「恵那東防災リーダー実行委員会」を発足させ、以降、生徒が主体的に取り組む防災活動の実践を続けてきた。5年が経過し、防災教育は学校の誇りある教育活動として定着し、生徒の防災に対する意識も年々高まってきた。この取組には地域全体も深く関わっており、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が地域と生徒たちの橋渡し役となって、密接な地域連携を生み出している。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	こうちけんりつやまだとくべつしえんがっこう 高知県立山田特別支援学校
所 在 地	高知県香美市
代 表 者	たかはし しんじ 校長 高 橋 信 司
功 績 の 概 要	<p>教育目標「新たな時代に胸を張り、主体的に生きる社会人の育成」の下、生き抜く力の育成を目指し、教育目標と防災教育を有機的に関連付けた取組を全校で進めてきた。知的障害のある児童生徒の防災学習の内容に関わる研究を重ね、「生活単元学習における防災教育単元系統表」を作成した。その系統表に基づき実践・評価・改善を行うP D C Aサイクルを構築、5年にわたり実践を積み重ね、小中高12年間の系統性のある防災教育を行っている。また、防災学習の充実とともに、多様な避難訓練の実施、様々な角度から防災意識の醸成を図る取組（訓練や地域の防災イベント参加、保護者への啓発等）を継続しており、地元自治体や地域住民、学校と密接に連携した実践を重ね、学校の防災対応力の向上や地域防災への啓発に成果をあげている。こうした取組は、さまざまな障害種や通常の小中高等学校にも参考となり模範となる実践である。また、実践を県内だけでなく全国へ発信しており高い評価も得ていることから、防災教育の推進に多大な貢献をしているといえる。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	ちばけんりつちょうしこうとうがっこう 千葉県立銚子高等学校
所 在 地	千葉県銚子市
代 表 者	すがや けんいち 校長 菅 谷 健 一
功 績 の 概 要	<p>教育目標「私たちは、1. 読書力・傾聴力 2. 発信力 3. 継続力の涵養に努めます。」の下、生徒に育みたい資質・能力の養成を目指し、平成26年度より県立学校改革推進プランにより学校設定教科「防災の学び」を設置し、銚子市教育委員会や千葉科学大学等と連携して地域に根ざした防災教育や探究活動の実践に継続して取り組んでいる。「防災の学び」及び総合的な探究の時間を活用した「防災における探究活動」を統合させ、積層図の作成・外部講師による講演・銚子ジオツアー・課題研究・県銚アカデミアを一連の学びとして確立させて行うことにより、災害安全教育の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	やまがたけんなんようしりつおぎしょうがっこう 山形県南陽市立荻小学校
所 在 地	山形県南陽市
代 表 者	よしみず じゅんいち 校長 吉 水 順 一
功 績 の 概 要	<p>学校教育目標「進んで学ぶ子ども・心豊かな吉野の子ども・健康でたくましい子ども」の下、発達段階や時期、地域の特性を生かした学校安全計画を作成し教育活動を展開している。その中で、防災関係諸機関と連携した「土砂災害想定避難訓練・防災学習」、PTA広報誌を活用した防犯意識高揚のための啓発活動、AEDを使った心肺蘇生法学習会等行うことにより、安全教育の推進に多大な貢献をしている。学校・家庭・地域の信頼関係を土台とし、学校安全計画に沿った意図的・計画的な教育実践により、児童自らが「自分の命は自分で守る」ことを意識した危機管理能力の育成が図られ、現在不登校児童や登校しぶりの児童、交通事故ゼロの継続へとつながっている。</p>

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	経 済 産 業 省
氏 名	あらい みつる 新 井 充
住 所	東京都中野区
主 要 経 歴 等	東京大学名誉教授 元産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分 科会火薬小委員会委員長
功 績 の 概 要	<p>一貫して火薬類をはじめとする高エネルギー物質の安全利用技術、不安定物質の危険性評価の研究に取り組み、また、火薬学、安全工学分野における深い学識や豊富な経験をもとに、多くの技術者、研究者を育成、輩出してきた。火薬学会会長、安全工学会会長等多くの公職を務め、火薬業界の発展並びに保安レベルの向上に大きな貢献を果たすとともに、産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分科会火薬小委員会委員長として、火薬類取締法の技術基準策定等に深く関与し、火薬類に関する保安確保、事故の減少に大きく寄与するなど、火薬類保安行政に対して多大な貢献を果たしている。</p>

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	厚 生 労 働 省
氏 名	もうり もとひこ 毛 利 元 彦
住 所	神奈川県横須賀市
主 要 経 歴 等	医師 建設工事計画審査委員会委員
功 績 の 概 要	平成6年に、労働安全衛生法に基づく審査委員に就任され、以来29年の長期にわたり、大規模建設工事の安全対策等について審査を行い、建設業の労働災害防止に多大な貢献をした。また、高圧生理学の専門家として、複数の行政検討会の参集者に就任し、技術的な助言等を行った。

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	うりゅう たくお 瓜 生 卓 郎
住 所	奈良県奈良市
主 要 経 歴 等	東成自衛消防協議会会長
功 績 の 概 要	<p>平成4年4月、東成自衛消防協議会会計監事に、また、平成12年11月には会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により育成発展に尽くした。さらに、平成17年6月には大阪市自衛消防連合協議会の会長にも就任するなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、東成区はもとより大阪市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	す さ み さ こ 須 佐 光 佐 子
住 所	和歌山県和歌山市
主 要 経 歴 等	和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会会長
功 績 の 概 要	<p>昭和54年和歌山市西ニュータウン婦人防火クラブ発隊時から、率先して地域での防火活動に積極的に参加し、昭和56年に隊長に就任。平成18年に和歌山市婦人防火クラブ連合会会長に就任、同年和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会の副会長となり、5年間副会長を務めた。平成27年再度副会長に就任し、その後、令和3年には会長に就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、六十谷地区はもとより和歌山市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	ともふじ ふじこ 友 藤 富 士 子
住 所	兵庫県加東市
主 要 経 歴 等	加東市婦人防火クラブ会長
功 績 の 概 要	<p>平成6年4月加東郡婦人防火クラブ副会長、また、平成9年4月には会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。</p> <p>さらに、平成15年5月には兵庫県婦人防火クラブ連合会の理事にも就任するなど、家庭防火に携わる婦人の防火思想の普及・啓発に尽力し、加東市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	<small>いっばんざいだんほうじんあいちけんしょうぼうせつびあんぜんきょうかい</small> 一般財団法人愛知県消防設備安全協会
所 在 地	愛知県名古屋市
代 表 者	<small>いながき たかし</small> 理事長 稲垣 隆 司
功 績 の 概 要	<p>消防用設備等の設置及び維持管理を通じて建築物の防火安全を推進し、火災の予防と火災による被害を軽減し、安心安全なまちづくりに貢献し、もって社会公共の福祉増進に寄与することを目的として昭和52年4月に設立された。</p> <p>以来今日まで、消防用設備等設置維持の適正化、消防用設備等関連業務に携わる消防設備士、消防設備点検資格者等の資質の向上に向けた育成指導、防火対象物関係者への啓発、火災予防思想の普及、各種防災活動への参加等の各種事業を展開してきた。これらの事業を通じて県内のデパート、ホテル、病院、工場、事務所ビル等の防火対象物及び一般住宅の防火安全の徹底と地域住民に対する防火・防災意識の高揚に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	いりょうほうじんせいわかい 医療法人清和会
所 在 地	熊本県熊本市
代 表 者	とうや ゆうじ 理事長 東 野 裕 司
功 績 の 概 要	<p>昭和22年12月に東野診療所として開業後、昭和32年11月から現在地に移転。昭和51年7月に現在の医療法人清和会を設立。長年にわたり、地域医療への貢献に努めるとともに、広範囲に様々な福祉サービスをシームレスに提供している。具体的には、地域交流推進室の設置や、地域交流誌「たいざんぼく」、「なかま」等の発行など、地域住民に寄り添った各種事業を展開。こうした活動を通じて、防火・防災について地域住民との協働による防火・防災体制の確立に貢献している。また、平成10年5月の熊本市防災協会の設立時から協会員として、今日に至るまで防火・防災思想の啓発活動にも積極的に参加している。令和2年7月豪雨では、JMATとして7月29日に人吉市の中原小学校体育館、スポーツパレスの2箇所で避難所の環境確認や感染症対策などの活動を行っている。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	けいくびまちふじんぼうか 毛井首町婦人防火クラブ
所 在 地	長崎県長崎市
代 表 者	ふくだ たかこ 会 長 福 田 高 子
功 績 の 概 要	<p>昭和40年11月25日に毛井首町自治会内の全家庭における火災予防の推進と防火思想の普及啓発を目的に結成以来、住宅防火対策の重要性を認識し、消火器や住宅用火災警報器の設置普及に尽力している。また、地域の消防団や自治会と連携して消火器の取扱訓練等を実施し、初期消火技術の向上を図るとともに、地域の火災予防に積極的に取り組んでいる。</p> <p>さらに、消防出初式、婦人防火クラブ幹部研修会、及び市民防火のつどい等の各種行事にも積極的に参加し、消防機関との連携強化を図るとともに、AEDの使用方法を含めた救急講習会等に定期的に参加するなど、幅広い活動を展開し地域住民の防火意識の高揚に尽力している。</p>

(連絡先)

内閣府大臣官房総務課管理室

〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1

TEL 03-5253-2111 (内31221)